

10周年記念

平和を祈る音楽会



ピアノ:大井手 慶



テノール:米澤 傑



オーボエ:堤 寛

~愛知県より~

オーボエ:堤寛(病理医) & オルガン:堤佐代子

バツハ:アダージオ、バツハ:G線上のアリア、グノー:アヴェマリア

~大村市より~

チェロアンサンブル・ピアチェーレ

ロンドンデリーの歌、他

~福岡県より~

ファゴット:日高仁

G.faure: Sicilienne

~東京都より~

ピアノソロ:大井手慶(病理医)

バツハ:主よ人の望みの喜びよ、ショパン:バラード第4番、他

~長崎市より~

朗読劇:「涙のひとしづく」

作・演出:つだけいこ 群読:劇団TABIHAKU

電子ピアノ:板上素子

~鹿児島県より~

テノール:米澤傑(病理医) ピアノ伴奏:今岡 淑子

ブッチーニ:誰も寝てはならぬ、星も光りぬ

ディ・カプア:オーソレミオ、他

この日、私たちは、すべての平和を願い、平和を祈り、音楽を演奏します。

浦上天主堂で音楽を演奏できることは平和そのものだと思います。

初回開催は2014年8月でした。

その後毎年開催。コロナ禍でも中止することなく開催できたことは奇跡です。

ふりかえれば、実に多くの方々に応援していただきました。感謝のうちに

10周年記念平和を祈る音楽会を開催します。

2023

8/6(日)

浦上天主堂

13:30 ~ 15:30

主催:平和を祈る音楽会実行委員会

愛知県稲沢市矢合町三吉跡1551-1

お問合せ:08066419802(Yutaka) 09093380638(Sayoko)

Email:peer345@outlook.jp(Sayoko Tsutsumi)

協力(公益財団法人)長崎平和推進協会(音楽部会)

参加費は無料ですが、当日、受付にて、チャリティーをお願いします。

チャイティー箱は、「浦上教会」と「長崎大学核兵器廃絶研究センター」の、2種置きます。日々、平和のために行動しているところへ寄付したいと思ひます。

■オーボエ：堤 寛 YUTAKA TSUTSUMI ■

1951年横浜市生まれ。1976年慶徳義塾大学医学部卒。1980年同大学院修了。医学博士・病理専門医・細胞診専門医・感染症学会推薦ICD制度協議会(ICD)「インフェクションコントロールドクター」東海大学医学部に21年在籍ののち2001年6月より2017年3月まで、藤田保健衛生大学(現在は藤田医科大学)医学部病理学教授。2009年よりNPO法人びあサポートわかば会監事。オーボエは40歳から習い始めた。2014年に「平和を祈る音楽会実行委員会」を立ち上げ、以後毎年浦上天主堂(長崎)にて「平和を祈る音楽会」を開催している。現在、稲沢市在住。SAYOKOとのDUOは2003年から始め、ひとの輪平和の和を広げようと、「輪の和」コンサート、トーク&ライブなどを各地で開催してきた。今回「輪の和activity」は73回目となる。100回開催を目指している。現在、稲沢市にてつつみ病理診断クリニックを開業。2021年4月より四日市看護医療大学臨床検査学科特任教授を務める。

■チェロアンサンブル・ピアチュール ■

大村市で開催されていたチェロ講座の受講生が、2010年「ビュービルズコンサート」(大村市振興公社主催)への参加をきっかけにチェロアンサンブルを結成。コロナ禍を乗り越え、より一層の活動を継続中。今回、このコンサートに参加できることを、メンバー一同大変嬉しく思っています。私達はチェロの温かい音色に惹かれ、大人になって手ほどきを受け始めた初心者が集まりです。これからも日々研鑽を重ね、音楽を通して多くの人との輪・平和の和が広がることを願っています。そして音楽のある生活を楽しんでいきたいと思ひます。

■劇団 TABIHAKU (代表：つだけいこ) ■

90長崎「旅」博覧会に県内公募で結成された「劇団 TABIHAKU」は、以来、各種イベントに参加。ミュージカル・ストレイトプレイ・リーディング・ダンスショー、年間10ステージを制作しています。殊に平和の事業を大切に作品づくりに励んでいます。

■ファゴット：日高仁 JIN HIDAKA ■

医師。日本大聴覚門病学会専門医・指導医、日本臨床門病学会技能指導医・評議員。1974年福岡県久留米市生まれ。幼少よりピアノと作曲を学び、高校でオーケストラ部に所属しファゴットを始める。藤田保健衛生大学(現藤田医科大学)医学部入学後、オーケストラ部に所属しファゴット奏者・学生指揮者として活動。2004年同大学卒業。医師となった後、途中10年以上ファゴット演奏を中断するが、2019年、デンマーク・オーフス大学病院への研究留学時に、同地で休日に定期レッスンを受け再開。帰国後、現在はアルモニア管弦楽団に所属。これまでにピアノ・作曲・指揮を山本成宏氏に、ファゴットを依田嘉明、Anna Moe、草野雅行の各氏に師事。

■ピアノソロ：大井手 慶 KEI OIDE ■

アメリカ・ロサンゼルス生まれ。International College of Music Hamburg シニアスタディ課程修了。2009年夏に、モスクワ音楽院にてProf. Yuri Slesarevによるマスタークラスを受講。2011年にはInternational College of Music HamburgでProf. Manfred Fockのクラスに在籍し、ドイツ各地でのコンサートに出演。2016年7月、ロンドンでのリサイタルにてE.ハーツェル氏の新作世界初演を行う。2018年1月、ロンドンにてナイツプリッジ管弦楽団とショパンのピアノ協奏曲第1番を共演。第12回万里の長城杯国際音楽コンクール第2位、第16回ショパン国際ピアノコンクールinAsiaコンチェルト部門全国大会観賞受賞。これまでにピアノを鈴木トヨミ、寺田昭子、平本恵子、Manfred Fockの各氏に師事。ソロ、室内楽ともに国内外での演奏活動を続けている。現在、東京都内の医療機関に病理医として勤務。

■テノール：米澤 傑 SUGURU YONEZAWA ■

鹿児島大学医学部名誉教授。医学博士。
医療法人・玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル・トータルウェルネスセンター・センター長。鹿児島市医師会病院病理部・顧問。日本病理学賞。鹿児島県芸術文化奨励賞。各種がんマーカー等の論文の著者世界ランキング第6位(日本人第1位)。松本美和子氏に師事。日本クラシック音楽コンクール第1位・グランプリ。太陽コンクール・カンツォーネ・イタリアーナ優勝。蝶々夫人やカルメンの主役。第九、メサイア、ヴェルディ・レクイエム、ロッシェニ・スタバトマターテル等のソリスト。G. ジャコモニ二ら世界的名テノールとのジョイントリサイタル、オペラ「トゥーランドット」のカラフ王子役(イタリアと日本)、皇后陛下(現・上皇后)ご臨席のサントリーホールでのモーツァルト・レクイエムのソリストで大絶賛を博す。NHKの「第九をうたおう」、FM名曲リサイタル、芸術劇場、ラジオ深夜便に出演。CD「聴も憂てはならぬ/米澤 傑 テノール・オペラアリア集」は、ヒットチャートで度々第1位(検索：楽天市場 米澤傑)。

■ピアノ：今岡 淑子 YOSHIKO IMAOKA ■

相模大学卒業。同大学ピアノ研究生修了。ソロのみならず、伴奏者としての信頼も厚く、多数の演奏会やNHK-FMに出演する他、CD録音に参加する等、幅広く活躍している。音楽現代新人賞、宝塚バガ音楽コンクール第3位、京都芸術祭優秀伴奏者賞受賞。また、指導者としてピティナ「特別指導者賞」、日本クラシック音楽コンクール「優秀指導者賞」、ベータン音楽コンクール「優秀指導者賞」等の受賞も多く、演奏・指導の両方で高い評価を得ている。現在、武庫川女子大学音楽学部教授。兵庫県立西宮高校音楽科講師。

■偲ぶ■ 故・土山秀夫先生(元長崎大学学長)は病理医で、堤寛とは面識がありました。私たちは長崎大学医学部の学生が爆撃で大勢亡くなった史実を悲しみ、土山先生の核兵器廃絶への思いに共感しました。土山先生は「音楽ができることは平和そのものです」といわれました。この音楽会は土山先生との出会いから始まったのです。

■南短のおとうさん@故・大橋学長を偲んで■



土山先生の言葉をヒントに第1回目開催の後押しをしてくださったのは大橋先生でした。

初回が終わり2回目をやりたいと話した後「浦上教会久志主任司祭様に『よろしくね』と話しておきましたのであとはあなたの足で歩きなさい」と言われました。2回目終了後「10回頑張ります!」と宣言したときは、「継続は力なりだからね。僕よりも長崎に詳しくなって有名になったんじゃない??」とユーモアたっぷりに言われました。大橋先生は南山短期大学では「南短のお父さん」と慕われ、私は同窓会役員として交流がありました。同窓会誌で卒業生向けに、「自分の足であるきなさい」「困難を乗り越える勇気をもちなさい」等を発信されていました。今思うとそれは卒業生への大きな愛そのもので、私たちひとりひとりへのエールであったように思ひます。大橋先生本当にありがとうございました。

(平和を祈る音楽会実行委員:堤佐代子)